

〈サトイモのしずく〉

早朝、散歩のついでに畑に寄ってみると、サトイモの株元が濡れているのに気づいた。一つだけでなく全ての株元が濡れていた。原因は葉っぱの上にあった“しずく”。このしずくが夜の間に何回か落ちて地面を濡らしていたのだ。この濡れ具合を見ると1滴2滴ではなく、かなりの回数でしずくを落とっていたようだ。葉っぱの上に溜まっては落ち、溜まっては落ち……。それにしても不思議なのはこの丸いしずく。サトイモの葉の上につくしずくはなぜ丸いのか？葉っぱを揺らすとコロコロと面白いように葉っぱの上を転がる。まるでビー玉を転がしているかのようだ。サトイモだけでなく、蓮の葉も同じように丸いしずくができる。

“ロータス効果”と言うそうで、蓮の英名、ロータスからとった現象とのこと。葉っぱの表面が微細な凸凹になっていて水をはじき、

丸い水滴となる。葉の表面の汚れを落とす自浄作用があるそうだ。調べてみるとこのロータス効果を応用した生活用品がいくつもある。ご飯粒が付きにくい凸凹があるしゃもじ、撥水レインコート、テフロン加工のフライパン、防水スプレ

ー、撥水効果がある傘、、、。

一見何でもなさそうなサトイモの葉にこんなにすごい秘密が隠されていた。そう思うと葉っぱの上を転がる水滴がまさに銀の粒に見えてきてこの粒で体内の毒を清めたくなった。

